

①病院名	②H29 病床数	③2025年 の病床数	④再検証対象該当理由
社会福祉法人恩賜財団 東京都済生会中央病院 (港区)	535床 高度急性期：381 急性期：154	535床	B「類似かつ近接」 (診療実績は高い)

⑤公的資金の投入状況

<自治体や国からの繰入金、運営費補助、交付税交付金等（経営補助・損失補てんの資金）を記載>

投入状況 (記載) 有or無	無	名称 ※有の場合

病院の特色について

1 「得意とする」「重点的に取り組んでいる」主な医療の内容

1. 地域医療支援病院として地域の中核病院の役割を担っている  
1915年の開院以来、100年以上にわたり地域医療の中核病院としての役割を担ってきた。東京都がん診療連携拠点病院、脳卒中急性期医療機関、CCUネットワーク加盟施設、地域連携型認知症疾患医療センター。
2. 港区唯一の救命救急センターとして救急医療に力を入れている  
2012年より救命救急センターの指定を受け、現在月約500台の救急車を受け入れている。重症者用初療室3室の救急外来のほか、救急専用病棟30床（うちE-ICU10床）を備える。
3. 災害拠点病院として災害発生時の拠点施設としての準備と訓練を重ねている  
免震構造の災害拠点病院で、災害担当は地域災害医療コーディネーターに任命されている。港区医師会との連携のもとに区内の12病院のまとめ役として災害医療合同訓練を実施。

2 地域の医療機関との連携の状況（例：高度急性期病院との連携、地域の診療所との連携）

1. 病診連携  
1991年より病診連携室（現地域連携室）を立ち上げ、港区医師会を中心として多くの診療所と連携しており、登録医数は現在597名にのぼる。
2. 病病連携  
地域のさまざまな特色を持つ病院と互いの特色を生かした病病連携を推進している。国立がんセンターやがん研などの高度専門病院、東京高輪病院や北研病院などの地域包括ケア病棟を持つ病院、回復期リハ病院などと病院間で協定を結んでいる。また自家用救急車を利用して近隣の二次救急医療機関からの重症患者受け入れにも積極的に対応している。
3. 地域包括ケアの推進  
東京都済生会として訪問看護ステーション、港区立の特養や高齢者在宅サービスセンターなどを運営しているが、医療・介護・福祉のネットワークを活用して地域包括ケアを支える病院として機能している。

3 その他、病院の特徴的な取組

1. 無料低額診療の実践  
社会福祉法人としての済生会のミッションである無料低額診療を実践しており、旧都立民生病院の機能を継承した都内のホームレス患者のための無料低額診療専用病棟43床を運営。
2. 臨床研修病院としての取り組み  
1977年に医師臨床研修を開始し、2004年の新医師臨床研修制度の開始以来、本年度まで連続フルマッチを達成している。現在は毎年全国から12名の初期研修医を採用。また、医師以外にも看護師、薬剤師のほか、さまざまな医療技術職の研修を実施している。
3. 外国人患者受け入れ医療機関認証制度（JMIP）認証機関